

泌尿器科専門研修プログラム

はじめに

当院泌尿器科は弘前大学医学部附属病院泌尿器科シニアレジデントコースの中で掲げられている関連研修施設12のうちの1施設である。

したがって、当科での研修を希望する場合、その研修内容は弘前大学医学部附属病院泌尿器科学教室とリンクしながらお互いの施設の利点を学べるようにプログラムされている。

後に述べるとおり、研修者は必ず弘前大学医学部附属病院泌尿器科での一定期間の研修を受けなければならないし、それが研修目標到達には欠かせないところである。

1. 養成コース名；むつ総合病院泌尿器科専門研修コース

2. 研修プログラム

(1) 研修目標

泌尿器科専門医取得を第1目標とし、泌尿器科分野の疾病につき広く確実に研修できる。

(2) プログラム例

弘前大学医学部附属病院泌尿器科学教室が掲げている研修手帳(弘前大学及び関連施設における泌尿器科シニアレジデントコース)にのっとり、各項チェック方式で研修を進めていく。

研修期間は概ね4年であり、前期(2年)と後期(2年)に分割し、前期終了時には中間評価を行う。また、少なくとも6ヶ月以上は、弘前大学附属病院(センター病院)での研修を必要とする。最終評価後本プログラム終了後には、日本泌尿器科学会認定の専門医資格を取得することが必須である。

具体的研修方法については

週1回以上のクリニカルラウンド

週1回以上の症例検討会

月1回以上の抄読会もしくはセミナー

年1回以上の泌尿器科学会提供の教育プログラムへの参加

年2回以上の泌尿器科関連学会(単位認定学術集会)参加

4年間で4回以上の学会発表

4年間で2編以上の臨床論文作成

の7項目を原則とする。

(3) 取得できる資格；日本泌尿器科学会専門医

(4) 経験できる症例・手技

泌尿器科独自の手技(尿道カテーテル挿入、内視鏡手技、各種生検、腎瘦造設術)

泌尿器科腫瘍学として

前立腺癌及びその術式(根治的前立腺切除術)

膀胱癌及びその術式（経尿道的切除術、膀胱全摘術）さらには尿路変向術の実際
精巣腫瘍（精巣摘除術）

前立腺肥大症（経尿道的前立腺切除術）

化学療法

尿路結石として各種術式（内視鏡手術）

体外衝撃波（ESWF）については鷹揚郷青森病院で研修可

尿路外傷

腎不全

内シャント造設術

P T A

ブラットアクセス管理

透析導入及びその管理

尿路性器感染症

神経因性膀胱

女性尿失禁

（５）症例数

術者として年１０例

助手として年８０例

（６）プログラムの特徴、アピールしたいポイント

現段階でむつ総合病院泌尿器科スタッフ２名は腎不全治療に関して共通の研究テーマとしてブラットアクセス管理を有しているため、他施設にはない独自の研修システムが可能である。

前立腺癌は泌尿器科において中心となる疾患である。弘前大学医学部附属病院泌尿器科学教室と連携をとりながら診断・治療に深みを持たせるべく、病理カンファレンスを設けている。

３．スタッフ

（１）コース長；吉川和暁

（２）研修責任者；工藤茂将

（３）指導医

吉川和暁（日本泌尿器科学会専門医）

工藤茂将（日本泌尿器科学会専門医）

４．診療グループ情報

（１）年間新外来患者数；１５０人

（２）年間新入院患者数；５００人

（３）手術件数；８０件

（４）検査件数；１２００件

- (5) 多く見られる疾患；前立腺癌、膀胱癌、腎不全、尿路結石
- (6) 多く行われている手技名；内シャント手術、内視鏡手術、各種癌手術
- (7) 主な研究分野；慢性腎不全患者のプラットアクセス管理、尿道外傷